地域連携・患者サポートセンター主催

見て触れて理解深める

11月29日に第16回医療・介護連携学習会を開催しました

CVポート（皮下埋込型ポート）説明の様子

「いろいろな医療機器に見て触れてみませんか？」というテーマで、5つの業者の方に来ていただき、在宅で使用している医療機器や医材について構造など説明してもらいました。今回はそういったものを介護の現場で身近に感じていただきたかったので、物に触れたり体験してもらう企画にしました。

医療・介護・在宅を支える参加者に、普段気になっていたことを業者の方に直接質問して理解を深めていただきました。血糖測定も体験してもらい、痛みを感じていただきました。

参加者からは、「実際に触れたのがよかった」「患者さんの体に入っている部分が見られて参考になった」「入居の促進につなげたい」など、多くの感想が寄せられました。

病気とともに生活されている方が少しでも安心して療養や在宅生活を過ごせるように、この学習会が患者さんや参加者のお役に立てることができたら幸いです。

（地域連携・患者サポートセンター　安藤裕子）

小児科の紹介

かかりやすさを追求します

当小児科は、長年勤務されている高山医師、新任の私（2022年～）と北野医師（2024年～）で診療しております。

診療内容は、感染症やアレルギー疾患を主体に小児の急性疾患、慢性疾患に幅広く対応しています。予防接種・乳幼児健診や夜間診療は、予約をとりやすいよう配慮しています。入院診療はおこなっていませんが、一人ひとり丁寧な診療を行い、必要な場合は高度医療機関に迅速に紹介させていただきます。

また、お子さんになるべく不安を与えないよう、明るい小児科であるようスタッフ一同心がけています。

近年の小児の問題として、肥満、起立性調節障害、不登校、発達障害などがあり、いずれも一朝一夕には解決できないものが増加しています。これらの問題に対しても、当院の檀上公認心理師と協力してできるだけ支えられるよう努めています。

今後とも地域のニーズに応えられるよう努力してまいります。

（診療部　岡田雅行）

当院小児科医３名、私たちが診療いたします

運動意欲の向上へ

糖尿病患者会ウォーキングイベントを開催

◀モルックと呼ばれる木の棒をピンめがけて投げている様子

外でみんなと食べると楽しい

11月16日、糖尿病について正しい知識を身につけ、治療や自己管理に役立てることを目的に、ウォーキングイベントを開催し、患者さんと職員合わせて19名が参加しました。

2kmコースと4kmコースに分かれ、病院から水島中央公園まで歩き、到着後は「モルック」というフィンランド発祥のスポーツをチーム戦で楽しみました。その後、栄養科のスタッフが丹精込めて作ってくれたお弁当をみんなで食べました。栄養バランスが良く、たいへん美味しかったです。

このイベントをきっかけに運動を頑張りたいという方もおられ、今回のイベントが運動意欲の向上に繋がれば私たちスタッフも嬉しい限りです。患者さん同士や、外来で関わりが少ない職種の人とも交流ができ、有意義なイベントになったと思います。

次回以降も交流イベントの開催を考えているので、より多くの患者さんに参加していただきたいと思っています。

（外来看護1科　岡山泰葉）

わが街健康プロジェクト。イベントのお知らせ

「中高生×医療×お仕事体験Lab」

日程：2025年1月25日(土)
10時～16時（予約不要）

会場：イオンモール倉敷 セントラルコート

内容：中学生・高校生向け
将来の進路選択の参考になる、職種紹介、体験型イベントです。

参加すると、いいことあるかも?!

詳細は、わが街健康プロジェクト。love our community ～心かよう地域医療～ 公式サイト

ホームページ wagapro.net

Instagram @waga_pro

水島協同病院は差額ベッド料はいただいておりません